

平成28年度下半期

財政状況

市では、市民の皆さんに市の財政がどのような状況にあるのかをお知らせするため、年2回財政状況を公表しています。今回は平成29年3月31日現在の収支状況をお知らせします。

☎財政課(☎826-1111 内線2217)

一般会計

予算現額：604億5431万円
 収入済額：446億3719万円(収入率73.8%)
 支出済額：442億295万円(支出率73.1%)

歳入	：予算現額	：収入済額(収入率)
市税	224億1384万円	217億5044万円 (97.0%)
地方交付税	43億5585万円	44億793万円 (101.2%)
使用料手数料	12億2080万円	11億2879万円 (92.5%)
国庫支出金	93億1601万円	71億409万円 (76.3%)
県支出金	32億9822万円	13億1507万円 (39.9%)
諸収入	11億3457万円	11億8235万円 (104.2%)
市債	129億3897万円	24億4267万円 (18.9%)
その他	57億7605万円	53億585万円 (91.9%)

MEMO
 市民1人あたりでみると…
 市税納入額：15万5684円
 支出済額：31万6393円
 ※平成29年4月1日現在の人口…139,709人

歳出	：予算現額	：支出済額(支出率)
総務費	51億536万円	44億2111万円 (86.6%)
民生費	190億6468万円	152億9823万円 (80.2%)
衛生費	76億2778万円	54億916万円 (70.9%)
土木費	78億3759万円	30億7040万円 (39.2%)
消防費	18億2217万円	17億5328万円 (96.2%)
教育費	120億8123万円	76億8320万円 (63.6%)
公債費	49億4317万円	49億865万円 (99.3%)
災害復旧費	930万円	700万円 (75.3%)
その他	19億6303万円	16億5192万円 (84.2%)

解説 収入率や支出率をみると、科目によりばらつきがありますが、これは出納整理期間(4月1日～5月31日)に前年度にかかる収入・支出があるからです。例えば、市債の収入率は18.9%ですが、事業完了後に借り入れるため、その多くは5月に収入します。歳出についても、工事など事業完了後に支払いをするため、土木費などは支出率が低くなっています。

特別会計

特定の事業を行う場合に、一般会計と区分して経理をする独立した会計

予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険		
190億2967万円	160億2317万円	168億1354万円
介護保険		
104億398万円	83億3660万円	91億8385万円
後期高齢者医療		
14億8275万円	14億1270万円	13億2584万円
下水道事業		
52億8339万円	21億5823万円	38億6057万円
土浦駅前北地区市街地再開発事業		
43億3592万円	32億3954万円	17億3206万円
その他		
7億5205万円	1億9368万円	6億7593万円

※収入より支出が多いのは、一般会計からの繰り入れや市債の借り入れが3月時点では処理されていないためです。

水道事業会計

収益的収支 事業収益を目的とした収支
 収入済額：31億6248万円
 支出済額：32億602万円
 ※資本的収入額が、資本的支出額に不足する額は、留保されている財源などで補てんします。

資本的収支 施設整備を目的とした収支
 収入済額：3億824万円
 支出済額：22億8334万円

市債の残高

一般会計 677億479万円
 特別会計 259億6348万円
 水道事業会計 56億7354万円

◎市民一人あたりの市債残高…48万4613円
 ※平成29年5月借入予定分を含む

市有財産

土地 401万9184.14㎡
 建物 48万3968.90㎡
 基金 132億7158万円

決算の概要は、広報つちうら11月上旬号でお知らせします。

平成30年4月1日採用予定

土浦市職員募集

土浦市の未来を共に創ろう！
 ～郷土愛にあふれた職員を求めています～

☎人事課(☎826-1111 内線2439)

職種	採用予定人数	受験資格	職務内容
事務職	23人程度	平成元年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた方	
事務職(身体障害者)	1人程度	自力で通勤ができ、介護者なしに事務職としての職務遂行が可能な方で、次の要件のすべてに該当する方 ①平成元年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた方 ②身体障害者手帳の交付を受け、その障害の程度が1級から6級までの方 ③通常の勤務時間(週38時間45分、1日7時間45分)に対応できる方 ④活字印刷文(文字の大きさは10ポイント)による出題および普通話声に対応できる方	本庁または出先機関で、主に一般行政業務に従事
保健師	2人程度	昭和57年4月2日以降に生まれた方で、保健師資格取得者または平成29年度保健師国家試験により当該資格取得見込みの方	本庁または出先機関で、健康相談、健康検査、母子保健などの業務に従事
学芸員(日本近世史)	1人程度	昭和57年4月2日以降に生まれた方で学芸員の資格をすでに有する方	博物館などで主に江戸時代の美術工芸資料(刀剣など)および古文書などの保存、調査、展示業務に従事
消防職A	5人程度	平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた方で、採用後、市内に居住可能な方	消防本部または消防署で、主に消防業務に従事
消防職B(救急救命士)		平成元年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた方で、救急救命士資格取得者または平成29年度救急救命士国家試験により当該資格取得見込みの方で、採用後、市内に居住可能な方	

※採用予定人員は、変更になることがあります。

●第1次試験日

7月23日(日) 午前10時～正午

※保健師および学芸員は午後2時30分まで

●試験会場

※駐車場はありません。
 【事務職・消防職】
 土浦第一中学校(文京町3-8)

【保健師・学芸員】
 生涯学習館(文京町9-2)

●受付期間

5月29日(月)～6月21日(水)

※消印有効
 6月9日(金)までに市ホームページから仮登録をしてください。なお、ホームページから仮登録できない方はお問い合わせください。

●申込方法

所定の申込書を、人事課で直接受け取るか、市ホームページからダウンロードし、郵送または直接
 ※郵送で申し込むときは、封筒の表に「採用試験申込書」と朱書きし、82円切手を貼った宛先明記の返信用封筒(長形3号)を必ず同封してください。

※詳しくは市ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

採用試験情報は
 コチラ

